

緊急時の対応について話し合ってみましょう

家族や職場で富士山噴火時の対応について話し合ってみましょう。

- ・緊急時に近くで身を守る場所はどこか(避難所や高台など)
- ・大量の降灰があった時の避難先とする建物(校舎や堅牢な建物)
- ・自主的な分散避難を行うか(親類・知人宅、宿泊施設や車中泊など)
- ・緊急時には、どのようにして信頼性の高い情報を得るか(防災情報のページを確認)
- ・家族とどうやって連絡をとるか(集合場所や災害用伝言ダイヤルの使用方法など)

特に「自主的な分散避難」については、いざという時に悩んでいると、噴火が始まってしまい、自家用車を使用できなくなってしまうことも想定されます。

分散避難を行うのか、その時はどこに行くのか、についても話し合っておきましょう。



訓練に参加しましょう

いざという時に落ち着いて行動できるよう職場やお住まいの地域で実施する避難訓練に積極的に参加してください。

訓練をしてみると気づかなかった問題や課題が明らかになることがあります。

普段から練習をしてないと、いざという時に動けません。

繰り返し訓練を行って、富士山噴火に備えましょう。



備蓄品をチェックしましょう

噴火時には、一時的に物流がストップしてしまうことも想定されます。

食料品、飲料水、常備薬など1週間分程度は備蓄することをおすすめします。

また、降灰時に立ち退き避難を行わなければならない時に備えて次のグッズも用意しましょう。

- ・ヘルメット
- ・ゴーグル
- ・マスク



<問い合わせ先>

山梨県防災局防災危機管理課火山防災対策室 電話 0555-24-9036

山梨県富士山科学研究所 電話 0555-72-6211

富士吉田市安全対策課富士山火山対策室 都留市総務課行政防災室
電話 0555-22-1111 電話 0554-46-0111

大月市総務管理課 上野原市危機管理室
電話 0554-23-8008 電話 0554-62-3145

身延町交通防災課 西桂町総務課
電話 0556-42-4809 電話 0555-25-2121

忍野村総務課 山中湖村総務課
電話 0555-84-7791 電話 0555-62-1111

鳴沢村総務課 富士河口湖町地域防災課
電話 0555-85-2311 電話 0555-72-1170

富士山が噴火したら
どうするの？

(山梨県作成 解説動画)

溶岩流版



火山灰版



富士山火山避難基本計画について



ふじさん犬(ふじさんけん)

(富士山科学研究所 防災キャラクター)

富士山火山防災対策協議会(※)において、
富士山火山避難基本計画を策定しましたので、
その概要を説明します。
今後、県や市町村において、それぞれの地域の計画を策定
しますので、是非、そちらも確認してください。

※ 富士山火山防災対策協議会とは、山梨県、神奈川県、静岡県や市町村、
国の機関民間企業など富士山噴火時の避難対策に関係する機関で組織する
団体です。

令和5年4月 山梨県防災局

富士山の噴火現象を知ろう。



引用: ©文平銀座+プラス・アーツ

富士山が噴火すると「大きな噴石」「溶岩流」「降灰」をはじめ、様々な噴火現象が発生する可能性があります。

しかし、これらの噴火現象は影響範囲の全ての地域で同時に発生するわけではありません。

まずは、行政機関が発する情報に注意し、富士山から少し離れることが大切です。

噴火現象を正しく知り、落ち着いて避難しましょう。

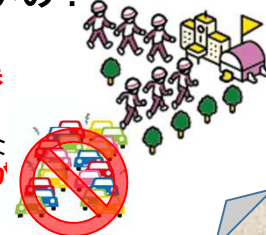
噴火時には、徒歩で避難するの？ 自家用車は使えないの？

引用: ©文平銀座+プラス・アーツ

避難する時の大きな問題は、「渋滞」です。

多くの方が一斉に避難を開始すると渋滞が発生し、自家用車よりも**徒歩で移動した方が、短時間で避難が完了**すると考えられます。

高齢者や足の不自由な方の避難、緊急車両など防災対策上、不可欠な車両の妨げにならないよう、歩行に問題ない方は、**徒歩での避難を心がけましょう。**



噴火関連の情報はどうやって届くの？

富士山で異常が観測されたり噴火が発生した場合には、気象庁、県、市町村から様々な情報が発信されますので、行政機関のホームページや防災行政無線の情報に注意してください。

このほか、報道機関の協力を得てテレビ、ラジオやネットニュースでも正確な情報をお知らせします。

災害時には、色々な情報が数多く流れるかもしれませんが、発信元を良く確認して正確な情報を得るようにし、不確かな情報をSNS等で拡散することはやめましょう。



富士山火山避難基本計画って、どんな内容なの？

富士山火山避難基本計画って何だろう？

火山災害は、ひとたび発生すると広範囲に被害が及ぶ可能性があるため、被害や混乱を最小限に防ぐためには、影響範囲の自治体、国、関係機関において共通した対策を講じることが大切です。

このため、富士山の火山災害警戒地域に指定された3県27市町村における避難対策のための基本的なルールを定めたものが「富士山火山避難基本計画」です。

今後、県や市町村が、それぞれの地域特性を踏まえた計画を策定し、各地域の避難体制を整えます。

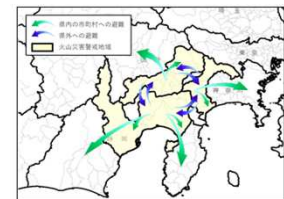
まずは、このリーフレットで噴火現象、新しい計画のポイント、噴火時に必要となる備えなど、みなさんに知っていただきたい事項について解説します。

「自主的な分散避難」って何？

「富士山が噴火するかも!？」とニュースで流れると、強い不安を感じる方もいるかもしれません。

そのような時は、**避難指示とは別に、親類や知人、または宿泊施設などご自身が決めた場所への避難（「自主的な分散避難」）**を検討してみてください。自家用車で移動可能な早い段階において親類・知人宅などへの避難することを事前に決めておくと安心です。

※自家用車で避難については、今後策定されるお住まいの地域の計画を参照し判断してください。



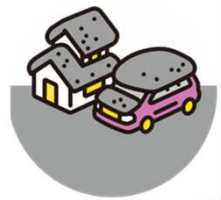
たくさんの降灰が発生したらどうすればいいの？

直近の富士山噴火は、1707年の宝永噴火です。この噴火では、大量の火山灰が広い範囲に降り積もりました(降灰)。しかし、次の富士山噴火の際、大量の降灰が発生するかどうかは、噴火するまでわかりません。

降灰そのものは、直ちに命の危険につながるものではありません。

まずは、**屋内(自宅など)に留まり安全を確保**しましょう。

また、降灰中の外出は危険です。必要最低限としてください。



引用: ©文平銀座+プラス・アーツ

噴火は予知できるの？



噴火を予知することはできません。

観測データで異常を把握できたとしても、その異常が噴火に結びつくのか、また、噴火までにどれくらいの時間的猶予があるのかを知ることは困難です。

このため、確実に身を守るためには**短時間で避難が完了する方法で避難**することが大切です。

いざという時に、落ち着いて避難できるよう、県、市町村では様々な噴火パターンでの訓練を実施する予定です。

地域の避難訓練に参加しましょう。

富士山は、どこから噴火するの？

富士山では、噴火までどこに火口ができるかわからないと言われています。

このため、異常が確認された場合には、想定火口範囲から、一旦、避難して様子を見る必要があります。



予兆が現れても噴火に至らない場合も考えられますが、避難を続けるかどうかは行政の情報に基づき判断しましょう。

左図 想定火口範囲
(富士山ハザードマップ改定版
(令和3年))

観光客は、どうすればいいの？

噴火が始まると、避難者や緊急車両で道路が混雑することが予想されます。また、安全のため、道路の一部区間で交通規制が実施されたり、電車の運行も停止することが予想されます。

このような状態になってしまうと、観光客など外部からお越しいただいた方々の帰宅が困難になることが予想されます。

富士山周辺以外に自宅がある方は、早めに帰宅しましょう。

